

令和7年 春のシンポジウム

# 〈#昭和100年〉で考える 「鹿児島県の近現代」

— 食文化・鉄道・遊びにみる“つながり”の歴史と未来 —

入場料  
どなたでも  
**無料**

日時

2025年

3月22日(土)

13:00▶17:30  
(12:30開場)

会場

鹿児島大学郡元キャンパス  
学習交流プラザ2F学習交流ホール  
鹿児島県鹿児島市郡元一丁目21-30

同時配信あり

## テーマ1「食文化」

- 報告: 正岡佑月(鹿児島大学法文学部4年生)
- 講演: 千葉しのぶ(NPO法人霧島食育研究会理事長、千葉しのぶ鹿児島食文化スタジオ代表)

「『鹿児島 100年の食』～伝えていきたい食と心～」

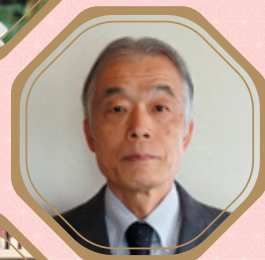


千葉しのぶ

## テーマ2「鉄道」

- 報告: 山本尚昌(鹿児島大学法文学部2年生)・鹿児島大学乗り物研究会  
鹿児島県立大島高等学校
- 講演: 杣木郁朗(宮崎市史編さん事業近現代史部会長、宮崎歴史資料ネットワーク副代表)

「南九州の鉄道敷設の歴史とこれから」



杣木郁朗

## テーマ3「遊び」

- 報告: 鹿児島県立錦江湾高等学校
- 講演: 伴野文亮(鹿児島大学法文学部附属「鹿児島の近現代」教育研究センター特任准教授)

「カードゲームにみる“つながり”の歴史と未来  
— 百人一首からポケカ、そしてその先は? —



伴野文亮

## 総合討論

「いま、〈#昭和100年〉から何を学ぶか」

同一会場にてポスター発表形式による県内高校生の  
「総合的な学習(探究)の時間」における成果発表会を同時開催します。

申し込み

応募締切: 2025年3月21日(金)

※右QRコードから専用フォームに必要事項を記入し、お申し込みください。  
※お電話での申し込みも受け付けております。  
※定員に達し次第応募を締め切らせていただきます。(定員: 100名)



問い合わせ先



鹿児島大学法文学部附属「鹿児島の近現代」教育研究センター

✉ kingendaijim@leh.kagoshima-u.ac.jp ☎ 099-285-7532 (担当 江・佐藤)

# 〈#昭和100年〉で考える「鹿児島県の近現代」

— 食文化・鉄道・遊びにみる“つながり”の歴史と未来 —

1926年(昭和元)から2025年(令和7)のおよそ100年間は、日本社会において著しく現代化が進んだ時期であった。この間の日本社会では、アジア・太平洋戦争の開戦と敗戦、連合国による占領と主権回復、高度経済成長と大衆消費社会の到来、「経済大国」化とバブル崩壊以降の経済停滞など、様々なことを経験してきた。こうした激動の時代のなかを、人びとはどの様につながり、生きてきたのか。

本シンポジウムでは、「食文化」「鉄道」「遊び」の3点に着目して、〈昭和100年〉の間における人びとの「つながり」の諸相と変遷を確認し、高度情報化とcovid-19以降「分断」化が進行する現代を生きるための知見の共有を試みる。

## 登壇者のご紹介

### 千葉しのぶ(ちば しのぶ)

(NPO法人霧島食育研究会理事長、千葉しのぶ鹿児島食文化スタジオ代表)

霧島山麓の事務所&農園を中心とし「植え方から食べ方まで」の食農教育と鹿児島の食文化継承活動を展開。「霧島里山自然学校」「霧島・食の文化祭」「かこしま郷土料理マイスター®講座」などの主催事業約1500回、全国各地での講演数約700回。「あしたのまち・くらしづくり活動賞(内閣総理大臣賞)」「読売教育賞」「南日本文化賞」「MBC賞」など受賞。鹿児島女子短期大学准教授を経て、令和2年4月千葉しのぶ鹿児島食文化スタジオ設立。



あくまき 写真協力:NPO法人霧島食育研究会

### 初木郁朗(もみき いくろう)

(宮崎市史編さん事業近現代史部会長、宮崎歴史資料ネットワーク副代表)

1961年宮崎県宮崎市生まれ。九州大学文学部卒業。宮崎県史編さん事業に従事した後、博物館にて学芸員として勤務。2018年宮崎県総合博物館副館長、2020年宮崎県教育庁文化財課長、2021年に宮崎県立西都原考古博物館長となり退職。現在は、宮崎公立大学非常勤講師、宮崎市史編さん事業近現代史部会長などを務める。専門は、日本近代史。また、被災文化財の保全活動などを行う宮崎歴史資料ネットワーク副代表。



はやとの風 写真協力:公益社団法人 鹿児島県観光連盟

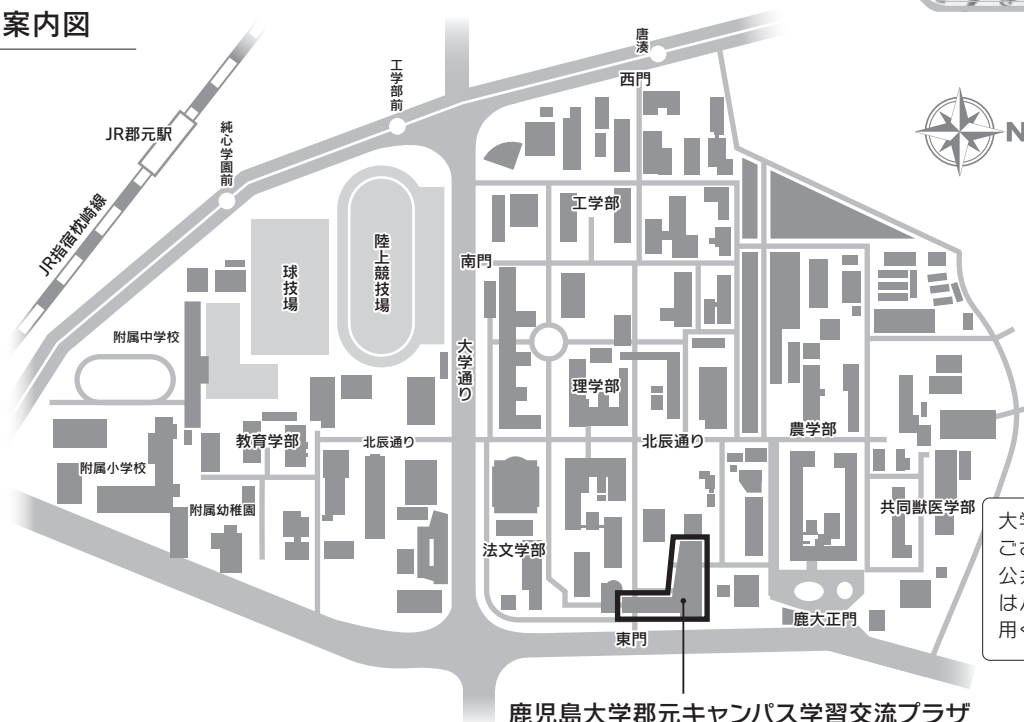
### 伴野文亮(ともの ふみあき)

(鹿児島大学法文学部附属「鹿児島の近現代」教育研究センター特任准教授)

1989年静岡県静岡市(旧清水市)出身。専門は近現代日本史・地域史。2011年専修大学文学部卒業。2019年6月一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程修了。同年7月東北大学文学部助教。2023年4月より現職。主たる業績として、『阿部次郎ルネサンス』(共編著、ペリかん社、2024年)、『金原明善 日本の〈偉人〉を捉えなおす』(共編著、文学通信、2023年)、『日本学の教科書』(共編著、文学通信、2022年)などがある。



## 会場案内図



鹿児島大学郡元キャンパス学習交流プラザ